

3. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

1、全体のねらい

- 問題解決的な学習を通し、将来にわたって持続可能な発展に向けての知識や価値観を持ち行動できる生徒の育成
- 体系的な思考力の育成
- 情報収集・分析能力・コミュニケーション能力の育成

2、実践内容

第1学年

「地域の人に学ぶふれあい体験」「名も知らぬ人の心に学ぼう」

○学習のねらい

- ・「地域とのつながり」について考え、地域の方々との交流を深め、たくさんの「技」や「文化」について学ぶ。
- ・グループの仲間と協力しながら、集団としての学ぶ力や考える力をつける。
- ・グループごとの課題を仲間と話し合いながら解決していく力をつける。

「地域の人に学ぶふれあい体験」

○具体的な学習内容等

- ・10個の体験講座を開設し、地域の人との交流を持った。
 - ①茶道入門②マジック③布小物づくり④押し花⑤絵手紙⑥折り紙⑦料理
 - ⑧郷土玩具づくり⑨フラダンス入門⑩自然観察
- ・交流新聞をつくり、掲示した。

「名も知らぬ人の心に学ぼう」

○学習のねらい

- ・地域の発展の歴史(炭鉱を中心に)について、地域の方々に聞いたり現地に行き調べたりして、地域の発展に貢献した人々や人権を大切にしようとした人々の生き方を学ぶ。

○具体的な学習内容

- ・与論島から来た人々 与論会会長に聞く
- ・炭鉱1 DVD、本などで調べる①炭鉱の歴史②三川炭じん爆発事故について③炭じん爆発事故の後遺症や家族の活動について④三池争議について⑤三池港での仕事。
- ・炭鉱2 関係の石碑などを調べる。本や資料で調べる①炭鉱でどんな仕事があったか。②囚人労働③戦争中の朝鮮人労働④中国人労働⑤炭じん爆発
- ・石炭化学コンビナート①三井化学に行って資料館で歴史を調べる。②三井化学に行って今の仕事について調べる。③その他の関連する企業を調べる。
- ・大牟田の文化や暮らし、そして戦争 ①大牟田空襲の体験を聞く②大牟田と戦争(史跡を調べる)ア、藤田町 イ、市役所防空監視哨 ウ、その他③大牟田の食べ物など文化についてア、動物園の歴史、 イ、産業博覧会 ウ、その他

- ・各自でテーマを決めた、個別レポート新聞をつくる。

第2学年「働くことの意義を学ぶ地域職場体験」「異文化の伝統や文化を知る」

「働くことの意義を学ぶ地域職場体験」

○学習のねらい

- ・地域のさまざまな人の生活にふれながら、働くことの意義や価値について学ぶ。
- ・地域の人々の生き方を学び、自己の将来の生き方を見つめる。

○具体的な学習内容

- ・43の事業所に分かれ、それぞれの事業所での職場体験を行う。
- ・体験学習の意義と心得を学び、職場体験の希望調査を行う。
- ・オリエンテーション、グループ編成を行う。
- ・PC室でのネットによる職業調べや、図書室での調べ学習を行う。
- ・職場体験を行う。
- ・職場体験で学んだことを職場新聞としてまとめ、掲示する。

「異文化の伝統や文化を知る」

○学習のねらい

- ・大牟田と京都の産業や歴史、文化の違いについて修学旅行を活用して実際に見たり、体験したりすることを通して、それぞれの地域の伝統や文化の良さを学習する。

○具体的な学習内容

- ・学習の意義や目的の確認、実行委員選出を行う。
- ・全体テーマを確認し、班編成を行う。
- ・班別学習会、PCでの調べ学習を行う。
- ・班別自主研修を行う。
- ・PCによる研修内容のプレゼンテーション作成を行う。
- ・保護者を招き発表会を行う。

第3学年「幼児とのふれあい体験」

○学習のねらい

- ・幼児とのふれあい体験活動を行い、思いやりの心を育て、発表する。
- ・生命尊重と命の大切さについて考える。

○具体的な学習内容

- ・体験学習の意義と心得、体験する保育所の希望調査を行う。
- ・班編成を行い、実習計画を立てる。
- ・実習のための準備作業を行う。
- ・保育所との事前打ち合わせを行う。
- ・保育実習を行う。
- ・体験で学んだことをレポートにまとめる。
- ・レポートを掲示する。

(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（

）